

いつからだろう？ 私たちが不都合な真実に目を背け続けるようになったのは。
いつからだろう？ 私たちが多様な価値観を理解しなくなってしまったのは。
私たちは演劇表現を通して、「自由や民主主義が存在する社会」を目指してきました。
ナシヨナリズムによらない自由な表現を展望することによって、描かれる未来像とは？
演劇は、現代の市民社会で、どんな力を発揮できるのか？

表現の自由 と 私たちの演劇

顧みれば、演劇は言論を左右する大きな役割を担ってきました。

私たち表現者は、今回の『演劇大学』という機会を通じて、今一度自分たちのコトバを見つめ直し、「自由や民主主義が存在する社会」をつくろうとする行為について、再認識したいと考えています。

そこで、現代思想・教育・民主主義の観点から、様々な分野で活躍する有識者をお招きし、関西を拠点に活動する演劇人・表現者との対話の場を設けたいと思います。

後期

- 第4回 「高校演劇にみる表現の力」 2017/1/7(土) 吉田美彦(日本学校演劇教育会関西支部事務局長)
第5回 「私たちの生きるこの社会を俯瞰してみる」 2017/1/19(木) 西谷文和(フリージャーナリスト)
第6回 「表現の自由と政治介入、およびメディアの自主規制について」 2017/2/19(日) 永井愛(劇作家・演出家)

文化庁委託事業「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

演出家・俳優養成セミナー2016 【会場】ドーンセンター

演劇大学 in 大阪 2016

